

## 第2土曜科学教室

### ～恐竜展 in 茨木～（2月14日実施）

茨木市教育センター

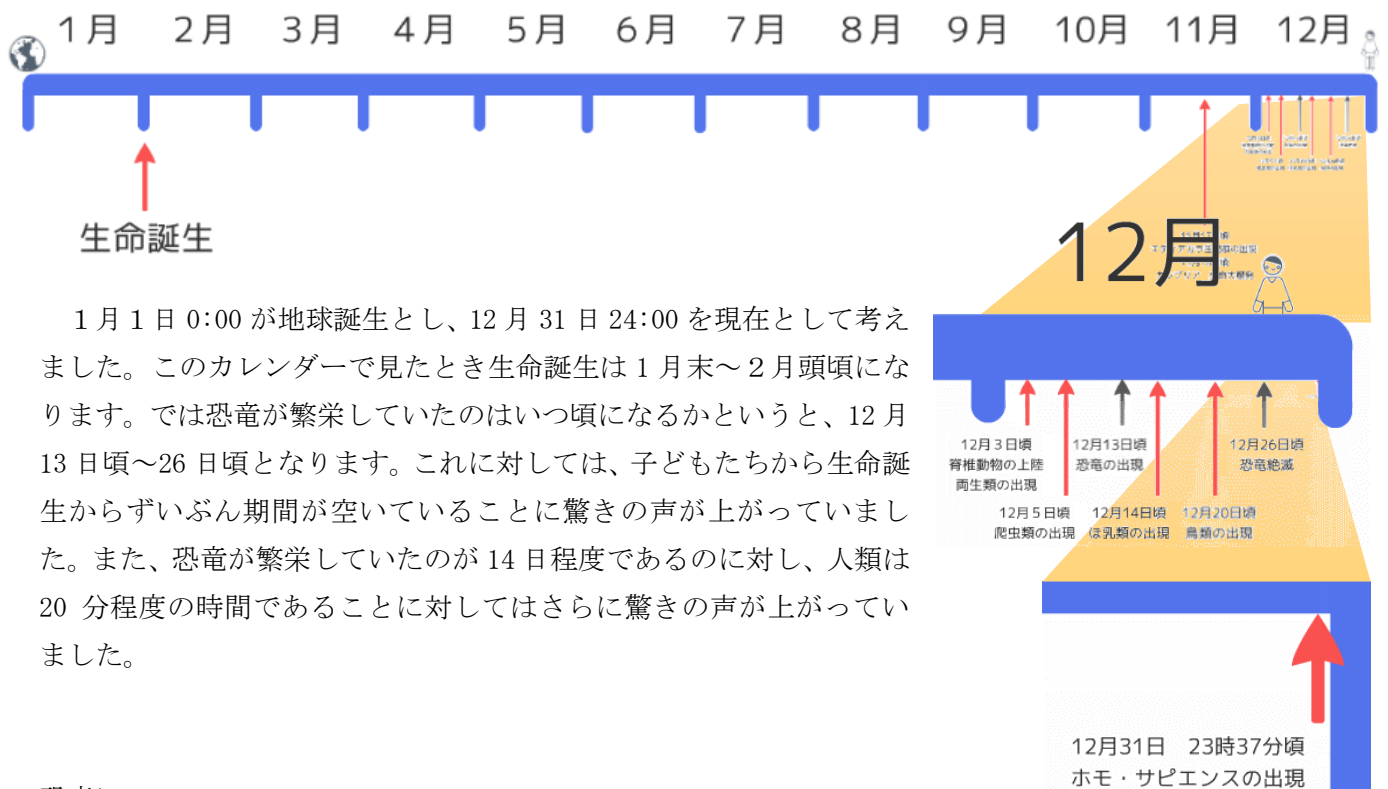
#### 1. はじめに

今回は、実寸大の恐竜の掛け布の展示を行うため中条小学校の体育館を利用して第2土曜科学教室を実施しました。掛け布以外にも、化石や展示資料を用意し、恐竜のことに学べる場としました。また、スペシャルゲストとして、中条小校区に在住の大阪市自然史博物館で勤務をされている方に支援いただき、子どもたちの素朴な質問に対応いただきました。



#### 2. 地球46億年の歴史について

はじめに、地球が誕生したとき、恐竜が生きていたとき、人間が登場したときの時間的な感覚をつかんでもらうため、46億年を1年間に例えて説明しました。



1月1日0:00が地球誕生とし、12月31日24:00を現在として考えました。このカレンダーで見たとき生命誕生は1月末～2月頭頃になります。では恐竜が繁栄していたのはいつ頃になるかという、12月13日頃～26日頃となります。これに対しては、子どもたちから生命誕生からずいぶん期間が空いていることに驚きの声が上がっていました。また、恐竜が繁栄していたのが14日程度であるのに対し、人類は20分程度の時間であることに対してはさらに驚きの声が上がっていました。

#### 3. 恐竜について

今回、実寸大の恐竜の掛け布を用意できたのは、サウロロフス（白亜紀後期）、トリケラトプス（白亜紀後期）、アロサウルス（ジュラ紀後期）になります。

自分の体の大きさと比較するとともに、恐竜の歯について、肌の色について、足跡の化石から分かること等恐竜についての話も行いました。



#### 4. 化石について

##### ① 恐竜の糞の化石

用意できた化石で一番大きな化石が、糞の化石になります。先ほど登場した足跡も含め、条件さえそろえば柔らかな糞も化石として残ります。

##### ② 化石の作り方について

化石ができるまでの工程を、紙芝居を利用しながら説明しました。

##### ③ 化石の重要性とレプリカ作成について

化石のレプリカというと、子どもたちではおもちゃのような認識を持ってしまいがちですが、科学的には非常に大切なものになります。ある1つの貴重な化石があったとしても、形態の研究を進めるには世界で1つの研究機関でしか研究できません。しかしながら、レプリカを作成することで、世界の複数の研究機関で研究を進めることが可能となります。また博物館等の恐竜の化石の展示においても、実際の化石では非常に重量の大きいものとなり強固な支持が必要となりますが、レプリカであれば展示も行いやすくなり、複数の展示施設での展示が可能となります。

化石の説明の後、低融点樹脂を利用してアンモナイト、三葉虫のレプリカ作りを行いました。(国立科学博物館の化石を利用) また、化石を採取した国や時代が分かるプレートの配布も行いました。



#### 5. まとめ

本取り組みにあたっては、地域の方や学校をはじめ多くの方のご支援の下、無事に終了することができました。おかげで、参加した子どもたちはいきいきとして学ぶことができたと感じております。今回は恐竜の掛け布が子どもたちをあとと驚かせました。布に、実寸大の恐竜の絵が描かれたただけのものになるのですが、いざ自分の目の前にすると大昔にはこのような恐竜がたくさん生きていたことのすごさを感じさせられました。

